

支援学校高等部 家庭・福祉共通

解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1** ～大問 **5** の各問題、特別支援教育に関する大問 **6** から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** と大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ～大問 **6** については、マーク式解答用紙に、記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **3** ～大問 **6** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

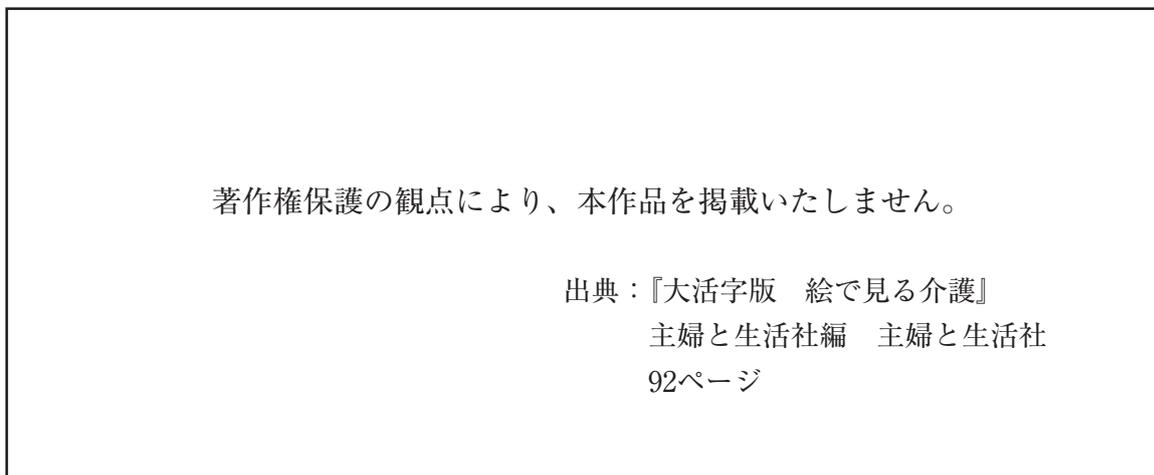
指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 次の各問いに答えよ。

(1) 次の図1は、右足に障がいのある人が、杖を使って平地で溝をまたぐ前の様子(①)とまたいでいる最中の様子(②)を示したものである。ア、イの問いに答えよ。

図1



(主婦と生活社『大活字版 絵で見る介護』より)

ア 図1中の①において、この人が左手に杖を持っている理由を、その効果を含めて「健側」、「患側」という2つの語句を用いて簡潔に記せ。なお、字数は句読点を含め、30字程度とする。

イ この人が安全にこの溝を渡るためには、図1中の①から②に至るまでに、二つの適切な動作を適切な順序で行う必要がある。その二つの適切な動作と、それらを行う適切な順序について「患側」という語句を用いて記せ。なお、字数は句読点を含め、30字程度とする。

(2) 次の図2は、機械浴の入浴介助の流れの一例の途中5時点における介助の様子を①～⑤まで時系列に示している。下の文章は、この①～⑤それぞれの時点における介助の様子について説明したものであり、利用者の安心と安全に配慮した機械浴の入浴介助について述べている。空欄(A)～(E)に入る最も適切な語句を、あとの【語群】から一つずつ選び記せ。ただし、語群には不要な語句も含まれている。

図2

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12
 一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編 ミネルヴァ書房
 71ページ 3-29 機械浴の入浴介助

(一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12、ミネルヴァ書房、2007年より)

- ① 髪を洗い、乾いたタオルで水分を拭き取る。耳もタオルで拭く。
- ② 全身を洗う。介助者は両サイドに立ち、(A) 防止と利用者の身体の安定に注意する。背部は(B)にして洗う。
- ③ (C) に浴槽が上昇することを説明し、レバーを操作してゆっくり浴槽を上昇させる。
- ④ お湯の中で利用者の体を温める。介助者は利用者の体調を(D)し、気分不快、疲労感などに注意する。
- ⑤ (E) を下降させ、担架部を浴用ストレッチャーに接続してスライドさせる。

【語群】	浴用ストレッチャー	担架	浴槽	転落	上昇	介助者
	利用者	観察	仰臥位	側臥位	座位	清拭

(3) 高齢者介護・看護にあたっては、痰(たん)が詰まると、呼吸が苦しくなったり、肺炎の原因になったりすることがある。普段から、痰を除くために、痰を出しやすくする工夫として効果的な事柄を、高齢者自身の行為や姿勢でできることと、居室の環境整備でできることを簡条書きで三つ答えよ。

2 次の各問いに答えよ。

(1) 次の表は、「ADLの分野別主要な福祉用具」を分類したものである。下のア～ウの福祉用具は、この表のどの分野において用いるものか。表中の分野名（起居、移乗等）で記せ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12
一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編 ミネルヴァ書房
165ページ 6-2 ADL 分野別主要な福祉用具

(一番ヶ瀬康子・井上千津子・鎌田ケイ子・日浦美智江編『介護技術』新・セミナー 介護福祉 三訂版12、ミネルヴァ書房、2007年より)

ア ナースコール イ ストーマ関連用品 ウ ボタンエイド

(2) 次の文章は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説福祉編第1章 第3節 福祉科の目標」の一部である。空欄（A）～（D）に入る適切な語句をそれぞれ、あとの【語群】から一つずつ選び記せ。ただし、語群には不要な語句も含まれている。

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の（A）に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる（B）を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな（C）を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ（D）に取り組む態度を養う。

【語群】	倫理観	幸福	表現力	科学的	尊厳
	協働的	人間性	世界観	エンパワーメント	

3 次の各問いに答えよ。

問1 次の文章の空欄A～Gに当てはまる語句として最も適切なものはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。

社会保障制度の成立には、貧困問題に対する社会的理解の転換を認めることができる。イギリスの例では、1601年以来、により生活に必要な現金や現物の給付、救貧院への収容、労働可能な者への仕事の提供などが行われた。また、1834年には新救貧法が制定された。新救貧法では、保護される者は自立して生きる労働者の最下層の生活よりも劣るべきとする「の原則」や、労役場の中だけでしか貧民に対処しないとす「院外非救済の原則」が徹底された。その背景には、当時の自助自立、貧困の個人責任論を当然視する社会的思想があったと考えられる。その後、社会問題・貧困問題の理解に向けた取り組みが行われるようになった。その取り組みの一つがいわゆる「貧困調査」であり、ロンドン調査を実施したや調査を実施したラウントリーがよく知られている。ラウントリーは、必要とされるをみたしうる飲食物費を理論的に算出し、これに他の必要経費を一つ一つ加算して最低生活費を算出した。ラウントリーの最低生活費の算出方法は、方式として知られている。第二次世界大戦後、貧困の理解は進み、ナショナル・ミニマムを保障するための社会保障制度が整備された。その一方で、貧困問題の理解は転換し、「格差」への注目が広がることとなった。は、相対的剥奪という概念で貧困をとらえることをめざし、貧困調査の手法の開発に努めた。

空欄Aの語群（解答番号は）

- 1 工場法 2 国民扶助法 3 エリザベス救貧法 4 労働法
5 社会保障法

空欄Bの語群（解答番号は）

- 1 均一抛出 2 劣等処遇 3 均一給付 4 優性保護 5 補足性

空欄Cの語群（解答番号は）

- 1 ロック 2 ジョンソン 3 パークレー 4 ブース 5 チャルマーズ

空欄Dの語群（解答番号は）

- 1 マンチェスター 2 ブリストル 3 ヨーク 4 リヴァプール
5 スピーナムランド

空欄Eの語群（解答番号は）

- 1 栄養所要量 2 最低賃金 3 地価 4 等価可処分所得 5 物価指数

空欄Fの語群（解答番号は）

- 1 格差縮小 2 マーケットバスケット 3 水準均衡 4 層化抽出
5 ローレンツ

空欄Gの語群（解答番号は）

- 1 ブラッドショー 2 アトリー 3 タウンゼント 4 サッチャー
5 グリフィス

問2 次は、わが国における障害者施策に関する文章である。空欄A～Hに当てはまる語句として最も適切なものはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。

わが国では、1949年に身体障害者福祉法、に精神薄弱者福祉法が制定された。なお、精神薄弱者福祉法は、のちにに改称されている。

わが国の障害者施策の総合的推進を図ることは、1970年に成立した心身障害者対策基本法において示され、その後、国際連合が定めた1981年の国際障害者年を契機として、さらに推進が図られることとなった。

国際連合により「障害者の十年」(1983年～1992年)が宣言される等の動きを踏まえ、わが国における障害者施策に関する長期計画が策定された。1993年の改正で、心身障害者対策基本法は、に改称され、その後も改正があり、現在に至っている。この法律の第四条では、「何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない。」「2 社会的障壁の除去は、それを必要としている障害者が現に存し、かつ、その実施に伴う負担が過重でないときは、それを怠ることによつて前項の規定に違反することとならないよう、その実施について必要かつがされなければならない。」「3 国は、第一項の規定に違反する行為の防止に関する啓発及び知識の普及を図るため、当該行為の防止を図るために必要となる情報の収集、整理及び提供を行うものとする。」と定められている。この他、この法律では、の創設、の策定義務化、公共的施設のバリアフリー化、におけるバリアフリー化などが定められている。さらに、この法律の差別の禁止の基本原則を具現化するものであるが2013年に制定された。

空欄Aの語群 (解答番号は)

- 1 1951年 2 1955年 3 1960年 4 1963年 5 1973年

空欄Bの語群 (解答番号は)

- 1 精神保健福祉法 2 支援費法 3 心身障害者福祉法
4 知的障害者福祉法 5 精神障害者福祉法

空欄Cの語群 (解答番号は)

- 1 障害者基本法 2 ハートビル法 3 障害者総合支援法
4 障害者自立支援法 5 障害者雇用促進法

空欄Dの語群 (解答番号は)

- 1 主体性配慮 2 伴走的配慮 3 合理的な配慮 4 最大限の配慮
5 包摂的配慮

空欄Eの語群（解答番号は ）

- 1 障害者月間 2 障害者の日 3 障害者週間 4 共生社会推進月間
5 共生社会啓発週間

空欄Fの語群（解答番号は ）

- 1 地域共生計画 2 障害者保健福祉計画 3 障害者地域福祉計画
4 障害者雇用計画 5 障害者基本計画

空欄Gの語群（解答番号は ）

- 1 相談援助 2 医療機関の利用 3 情報の利用 4 学校の利用
5 夜間移動

空欄Hの語群（解答番号は ）

- 1 バリアフリー促進法 2 ギルバート法 3 社会的包摂基本法
4 共生社会法 5 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

4 衣生活について、次の(1)～(9)の問いに答えよ。

(1) 下の表は、家庭用漂白剤の種類と特徴について示したものである。次の①と②の問いに答えよ。

種類		主成分	液性	おもな特徴
(A) 型	酸素系	(C)	酸性～弱酸性	・漂白力がおだやか ・タンパク質繊維に使用 (a) ・色柄物に使用できる
		(D)	弱アルカリ性	・漂白力がおだやか ・タンパク質繊維に使用 (b) ・色柄物に使用できる
	塩素系	次亜塩素酸 ナトリウム	(E)性	・漂白力、除菌力が強い ・タンパク質繊維に使用 (c)
(B) 型		二酸化チオ尿素	弱アルカリ性	・漂白力がおだやか ・すべての繊維に使用できる ・色柄物に使用 (d) ・空気酸化により復色しやすい

① 空欄A～Eに適する語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

	A	B	C	D	E
1	酸化	還元	過酸化水素	過炭酸ナトリウム	酸
2	酸化	還元	過酸化水素	過炭酸ナトリウム	アルカリ
3	酸化	還元	過炭酸ナトリウム	過酸化水素	アルカリ
4	還元	酸化	過炭酸ナトリウム	過酸化水素	アルカリ
5	還元	酸化	過炭酸ナトリウム	過酸化水素	酸

② 空欄 a～d に適する語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の 1～5 から一つ選べ。

解答番号は

	a	b	c	d
1	できない	できる	できる	できる
2	できる	できない	できる	できない
3	できる	できる	できない	できる
4	できない	できる	できない	できる
5	できる	できない	できない	できない

(2) 下の文章は、衣類の柔軟仕上げの原理について説明したものである。空欄ア～エにあてはまる語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の 1～5 から一つ選べ。解答番号は

家庭用の柔軟仕上げ剤（帯電防止剤）の主成分は（ア）性界面活性剤である。繊維は（イ）を帯びており、（ア）性界面活性剤のカチオン部分が水溶液中で繊維に単分子層吸着すると考えられる。その結果、（ア）性界面活性剤は繊維表面に（ウ）を外に向けて配向吸着し、繊維と繊維の接触面の（エ）が減り、すべりやすくなって柔軟性が高められる。

	ア	イ	ウ	エ
1	陽イオン	陰イオン	疎水基	遠心力
2	陽イオン	陰イオン	親水基	摩擦抵抗
3	陰イオン	陽イオン	親水基	摩擦抵抗
4	陰イオン	陽イオン	親水基	遠心力
5	陽イオン	陰イオン	疎水基	摩擦抵抗

(3) 下のア～オは、消費者庁・経済産業省「家庭用品品質表示法ガイドブック（平成29年4月）」に示されている、洗濯用または台所用の石けん、合成洗剤について述べている。正誤の組合せとして正しいものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 石けんの品名について、「洗濯用」及び「台所用」の両方に使用できるものについては、どちらか一方の用語を用いるか「洗濯用、台所用石けん」と表示する。

イ 洗濯用の石けんについては、純石けん分の含有重量が界面活性剤の総含有重量の80%以上のものに限り、台所用の石けんについては60%以上のものに限る。

ウ 石けんについて、洗濯用に供されるものであって、純石けん分以外の界面活性剤を含有しないものは「洗濯用石けん」、含有するものは「洗濯用複合石けん」の用語を用いて表示する。

エ 合成洗剤について、水素イオン濃度（pH）が8.0以下6.0以上のものに限り「中性」と表示し、13.0以下8.0を超えるものを「弱アルカリ性」、13.0を超えるものを「アルカリ性」、6.0未満3.0以上のものを「弱酸性」、3.0未満のものを「酸性」と表示する。

オ 洗剤補助剤の一つである「りん酸塩」については、合成洗剤に1%以上（五酸化りん換算）含有されている場合には「りん酸塩」の用語を用いて表示し、括弧書きで五酸化りん（ P_2O_5 ）としての含有率を付記する。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	正	誤	誤	正	正
2	正	誤	正	誤	正
3	誤	正	誤	誤	誤
4	正	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正	誤

(4) 下のア～オは、繊維について説明したものである。説明として誤ったもののみの組合せはどれか。
次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 綿、麻は共にセルロースを主成分とする繊維であり、日本では、江戸時代に麻が利用されはじめた。

イ 羊毛は吸水した状態ではクリンプが乾燥状態より開くので、もみ作用による縮充を起こす。

ウ 絹はカイコ蛾の幼虫が作る繭から得られる長繊維であり、繭糸を何本か集束し、セリシんで接着抱合させたものを、生糸とよぶ。

エ レーヨン、アクリルは天然に生成された高分子をいったん溶解して紡糸し、繊維化した再生繊維である。

オ ナイロンは熱可塑性があるが、耐光性が悪く、日光で容易に黄変する。

1 ア、イ、オ 2 イ、ウ、エ 3 ア、イ、エ 4 ウ、オ 5 エ、オ

(5) 相対湿度が60%、温度25℃の時、ナイロン、レーヨン、羊毛、ポリエステル、絹の5つの繊維を、水分率が多い順に並べたとき3番目になるのはどれか。次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

1 ナイロン 2 レーヨン 3 羊毛 4 ポリエステル 5 絹

(6) 下の図は、日本産業規格 JIS L 0001繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法に基づくアイロン仕上げ処理記号の1つである。この記号の表示が適当な繊維のみをア～オから選んだものとして正しいものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は



ア 麻 イ 毛 ウ ポリエステル エ レーヨン オ キュプラ

1 ア 2 ア、イ 3 イ、ウ、エ 4 ウ、オ 5 エ、オ

(7) 下のア～オは、布の加工について説明したものである。正しい組合せを次の1～5から一つ選べ。

解答番号は

ア 混紡、交織、交ねん糸使いの布に対して一方の繊維だけを薬品によって溶解、除去してレースのような透かし模様を出す加工。

イ 絹、レーヨン、アセテートなどのフィラメント織物に、木目や波形、あるいは雲状の模様をつける加工。水洗いやスチームで模様が消失しやすい。

ウ 布に接着剤を塗った後に、静電気を帯電させて、布面に細かく短い繊維を振動や静電気により垂直に植え付ける加工。

エ 織物を、凹凸のついた過熱ローラーと、紙や綿のローラーの間に通して、加圧によって布表面に浮き彫りのある模様やモチーフをつくる加工。

オ 綿布を専用の加工機械により、防縮する加工。この加工を施すことで、収縮率が1%以内に抑えられている。

	エンボス加工	モアレ加工	フロック加工	サンフォライズ加工	オパール加工
1	イ	ウ	エ	ア	オ
2	ウ	エ	イ	オ	ア
3	エ	ウ	イ	ア	オ
4	エ	イ	ウ	オ	ア
5	ウ	オ	エ	ア	イ

(8) 下のア～エは、スリーブの形状を表している。それぞれの名称の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：服飾図鑑

曾根美知江、他著 文化出版局

168ページから169ページまで

	ドルマン・スリーブ	ラグラン・スリーブ	ヨーク・スリーブ
1	ウ	ア	エ
2	ア	エ	イ
3	ア	ウ	エ
4	ウ	ア	イ
5	ア	ウ	イ

(9) 下のア～オは、布を立体化するときの造形性について説明している。それぞれの意味に合う技法の組合せとして最も適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 身体に合った微妙な曲面を形成するのに用いる方法で、水分とアイロンの熱を利用し、布地にくせをつけ固定すること。

イ 布を細かく縫い縮め、水分やアイロンの熱を利用して表にひびかないように処理し、布に膨らみをもたせること。

ウ 布を垂らしたときにできるひだの状態のこと。衣服デザインでは身体にひだをつくりながら巻き付けるなど、装飾的に取り入れる。

エ 立体的な身体に布を合わせるために余分な布をつまみ、縫い消した部分のこと。

オ 装飾的な立体化技法であり、縫い縮めることにより布に美しいしわやひだを寄せること。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	いせ込み	ドレープ	伸ばし	ダーツ	タック
2	伸ばし	いせ込み	ドレープ	タック	ギャザー
3	いせ込み	伸ばし	ドレープ	ダーツ	タック
4	いせ込み	ドレープ	伸ばし	タック	ギャザー
5	伸ばし	いせ込み	ドレープ	ダーツ	ギャザー

5 住生活について、次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 結露について述べた以下の文章中のA～Dに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

(A) が飽和状態のとき相対湿度は100%で、それより(A)が増えたり、気温が露点温度(B)になったりしたとき、結露が起こる。冬の朝、窓ガラスを覆う水滴がそれである。暖房した室内の温度に対して、窓ガラスや熱伝導率の大きな金属サッシは外気に熱を奪われ低温になる。つまり(C)ため、結露が起こりやすいのである。

ガラスや壁の表面で発生する表面結露は、壁クロスのはがれや、カビを発生させ、壁体内に侵入した水蒸気による(D)は、カビやシロアリ、腐朽の原因になり、住宅の耐久性を著しく損なう。

(中根芳一編著『私たちの住居学—サステイナブル社会の住まいと暮らし—』より)

	A	B	C	D
1	飽和水蒸気量	以下	水蒸気量が少なくなる	裏面結露
2	水蒸気量	以下	飽和水蒸気量が小さくなる	内部結露
3	水蒸気量	以上	飽和水蒸気量が小さくなる	内部結露
4	飽和水蒸気量	以上	水蒸気量が少なくなる	裏面結露
5	水蒸気量	以下	飽和水蒸気量が小さくなる	裏面結露

(2) 消費者庁「御注意ください！日常生活での高齢者の転倒・転落！（平成30年9月）」、「高齢者の事故の状況について（平成30年9月）」に記載されている内容について、以下の①と②に答えよ。

① 高齢者の介護が必要となった主な原因（平成28年）のうち、「骨折・転倒」が占める割合として最も適当なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 20.0% 2 12.5% 3 10.0% 4 6.3% 5 3.1%

② 以下の表「発生場所・事故要因別に見た高齢者の『転倒・転落』による救急搬送者数（平成28年）」中、A～Cに当てはまる語句の組合せとして適当なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

表 発生場所・事故要因別に見た高齢者の「転倒・転落」による救急搬送者数（平成28年）

住居等居住環境（家庭内）	
事故要因	搬送者数（人）
A	14,524
B	3,185
ベッド	1,333
椅子	1,030
C	1,021

消費者庁「高齢者の事故の状況について（平成30年9月）」を基に作成

	A	B	C
1	階段	トイレ	居室
2	階段	居室	トイレ
3	居室	階段	トイレ
4	居室	トイレ	階段
5	トイレ	階段	居室

(3) 大阪府「住まうビジョン・大阪（平成28年12月）」に示されている住宅まちづくり政策の基本的な方針について、以下の記述中A～Dに当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

- 都市の活力の源は「(A)」であるということを経験的な考え方とし、大阪ならではの魅力を存分に活かし、「住まうなら大阪」と思える、多様な人々が住まい、(B) 居住魅力あふれる都市を創造する。
- 政策展開にあたっては、「活力・魅力の創出」と「安全・安心の確保」の好循環を生み出す政策展開をめざす。
- 人々のくらしの原点である (C) され、将来にわたり快適さや豊かさを享受できるよう (D) 住まいと都市を実現するとともに、国内外から多様な人々を惹きつけ、大阪に住まう全ての人が生き活きとくらすことができる住まいと都市の実現に向け、施策の展開を図る。

	A	B	C	D
1	人	生活する	活力・魅力が創出	経済性豊かな
2	人	訪れる	安全・安心が確保	環境に配慮された
3	まち	生活する	活力・魅力が創出	経済性豊かな
4	まち	訪れる	活力・魅力が創出	環境に配慮された
5	人	生活する	安全・安心が確保	環境に配慮された

(4) 大阪府「大阪府統計年鑑（令和元年度）」に示されている、大阪府の総住宅数、大阪府の空き家数及び全国の空き家率の数値（平成30年）の組合せとして適切なものはどれか。次の1～5から一つ選べ。解答番号は

	大阪府の総住宅数（万戸）	大阪府の空き家数（万戸）	全国の空き家率（%）
1	882	134	16.6
2	882	71	13.6
3	468	71	16.6
4	468	71	13.6
5	385	134	16.6

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

6 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。
- イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。
- ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。
- エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。
- オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、 及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、 の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及び の作成の推進、 の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を に捉える観点別学習状況の評価と、これらを に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 アーイーウ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーウーエ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

